

一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会

平成 30 年度 事業報告書



Japan  
Familyhome  
Association

## ～平成 30 年度 事業総括～

日本ファミリーホーム協議会会長 ト蔵康行

平成 21 年 4 月のファミリーホーム制度化から区切りの 10 年を終えようとしています。この 10 年で社会的養護は大きな変革の時を迎え、今まさに只中にあることができます。平成 28 年の児童福祉法改正、翌年の「新しい社会的養育ビジョン」、そして現在進行中の新たな都道府県社会的養育推進計画の策定など、現在の動きも考慮しながら今年度を振り返りたいと思います。

### 1) ファミリーホーム要望書

6 月 19 日、会員のアンケート回答をもとに、本会の要望書を厚生労働省に提出いたしました。内容は、以下 10 の項目です。①保育所の利用について ②障がい児受入れ加算 ③高校生の措置費の充実 ④高校生進学費用の支弁 ⑤措置延長 20 歳の年度末まで ⑥措置延長終了後の事業で 22 歳まで医療費の補助を ⑦ファミリーホームへのレスパイト支援制度 ⑧修繕費の支弁 ⑨養育補助者の勤務経験を養育者の要件として認める ⑩ファミリーホームへの一時保護の適正化

運営安定化のための要望事項として、委託児童数の現員が定員を割ったとき（4 人以下となったとき）の補助を毎年、挙げていましたが、周知のとおり、今年度から 5 人以下の保護単価が設定され、事務費ならびに民改費が増額（1.2 倍）されることになりました。これまでの要望が少し形を変えて実現したということもできると思います。①の保育所の利用については、子どもの発達支援として保育所の方が適している場合には、ファミリーホームにも利用を認めてほしいという内容ですが、これは実現していません。但し、現行の制度においても近くに幼稚園のない場合、或いは、幼稚園に空きがない場合などには、利用できることになっています（一般家庭と同じ条件の中で優先度が判断されますが）。他に②⑤～⑧については実現していません。③の高校生の措置費については、既に通信でもお知らせしていますが、交通費の支弁や学習塾費の充実など、次年度から一部改善されることになります。但し、部活動費の補助は、認められていませんので、続けて要望を重ねることは必要です。④の進学費用については、文科省の事業として 2020 年 4 月より低所得世帯の児童について授業料・入学金の減免が行われることになっています。本年 1 月に文科省より各都道府県、政令市宛に「高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針」の通知が発出されていますので、詳しくはそちらを参照ください。⑨に関しては、一部の自治体で条件を付して認められていますが、国の要件として認められるには至っていません。協議会として具体的な条件を提示すること必要となると思われます。⑩の一時保護の適正化については、機会あるごとに家庭福祉課には現状を伝えております。2020 年度の予算要求や制度改善に向け、役員会に向け皆さまのご意見を続けてお寄せくださるよう、お願い致します。

## 2) 第13回ファミリーホーム全国研究大会 宮城仙台大会

8月3日(金)、4日(土)、宮城県松島町において「絆～未来につなぐ命～」というテーマを掲げ全国研究大会が開催されました。参加者は、大人189名、子ども139名、合わせて328名の参加をいただきました。横浜大会、大阪大会と会員数の多いブロックでの大会の後で、準備の難しさも感じた大会ともなりました。猛暑が続いていたため子ども企画を直前に変更したりということもありましたが、里親会や施設、行政関係の方々の協力を得て無事終えることができました。次年度は、中四国ブロックでの初の研究大会が岡山市で開催されます。無理のない規模での大会を目指していただければと思います。

## 3) 事業調査・政策委員会

平成29年12月に実施したアンケート調査「基礎調査及び進学・自立支援・措置延長・連携について」の中間報告が全国大会で配布されました。基礎調査で気になった点がいくつかありました。一つは、開設時の子どもの人数です。本来の定員である5人、6人というホームが、198回答中52ホームにしかすぎず、0人、1人、2人合わせて79ホームもあるということなのです。また、開設後半年で4人以下という経験を持つホームは123ホームにのぼりました。平成30年3月末の最新の統計数が、厚生労働省から出ていますが、全国のファミリーホーム数は347カ所、委託児童数は1,434名となっています。1ホームあたり4.13名、前年度末より低下しています。アンケートの回答からは、平均児童数は4.56人という結果が出ていますが、今年度に入りファミリーホームになかなか委託されないという声もより聞こえてきています。こうした点からの調査、分析も必要になると思われます。

## 4) 「社会的養護とファミリーホーム」編集委員会

出版社を創英社に変更して「社会的養護とファミリーホーム」vol8が昨年度末に発刊されました。全国大会の報告が中心であったこれまでとモデルチェンジし、“今後、広く社会的養護を見渡し「真の家庭養護とは何か」「子どもにとっての最善の利益とは何か」といった課題に真摯に向き合いながら課題を掘り下げていきます”とあります。現状唯一の家庭養護からの出版書として広く、さらに多くの方に読んでもらえることを願っています。

## 5) 研修委員会

昨年度に引き続き、日本財団の助成をいただき「ファミリーホーム専門研修」を実施しました。実施場所は、岡山市、松山市、東京都、大阪市の4カ所で参加者は、37ホーム52名となっています。昨年度は、処遇改善研修を兼ねていたため、225ホームというたいへん多くの参加を得ていた

ので、ほぼ参加ホームは一巡したかと思われます。次年度は、研修委員会でさらにスキルアップを目指す研修企画を予定しております。是非、ご参加ください。

#### 6) ファミリーホーム通信、ニュースレター

今年度も大分県の大柳さんが、ファミリーホーム通信とニュースレターの企画、編集を一手に担当してくださいました。ありがとうございました。タイムリーな情報提供がニュースレターを通して皆さんのお手元に届いたことと思います。

#### 7) 終わりに

冒頭記したように、社会的養護は変革の真っ只中にあります。気になるのは、ファミリーホームは取り残されているのではないかということです。フォスタリング事業の全国展開ということが注目を浴びていますが、ファミリーホームは対象となっていません。理由は、里親のリクルートからのトレーニング、マッチング、委託後支援という里親への一貫した包括的支援がフォスタリング機関の役割ということだからです。では、ファミリーホームへの支援は誰が行うのか。現状かなりのケースで難しい子どもの受け入れ先としておいて、フォスタリング機関の支援先ではないというのは、誰も納得できることはありません。里親支援機関の支援対象となっていたのにです。この点については、今後強く働きかける必要があります。また、新ビジョンでもファミリーホームへの記述が極めて少ないことも気になるところです。現在進行中の都道府県社会的養育推進計画の策定には、各地で会員の方々が委員として参加しておられることと思います。ファミリーホームとしての意見をしっかり届け、計画に反映させることが必要です。

最後に私事になりますが、微力ながら10年間本会の会長を任されてきました。制度的な課題を多く感じながらも積み残しの多いことを申し訳なく思っています。これまでの皆さまのご協力と、そしてまた10年の間、一緒に役員として活動して下さった多くの方々に心より感謝申し上げます。私自身、役員として活動した中で多くのことを得てきました。一会員としてだけ活動してきたならば、全く違った10年になったことは間違いありません。何度か、会報誌にも書いてきましたが、是非、各ブロックから役員を送っていただき、子どもたちのためにより良いファミリーホーム作りを一緒に考えていただきたいと思います。役員となることは、負担も決して少なくありませんが、それ以上に多くのことを自分自身にも地元にももたらしてくれます。

## ～会員に関する報告～

### ○1号会員について

平成 30 年度初日	入会	退会	休会	平成 30 年度末
277 ホーム	25	2	1	302 ホーム
平成 29 年度初日	入会	退会	休会	平成 29 年度末
259 ホーム	31	9	2	277 ホーム
平成 28 年度初日	入会	退会	休会	平成 28 年度末
231 ホーム	28	1	2	259 ホーム

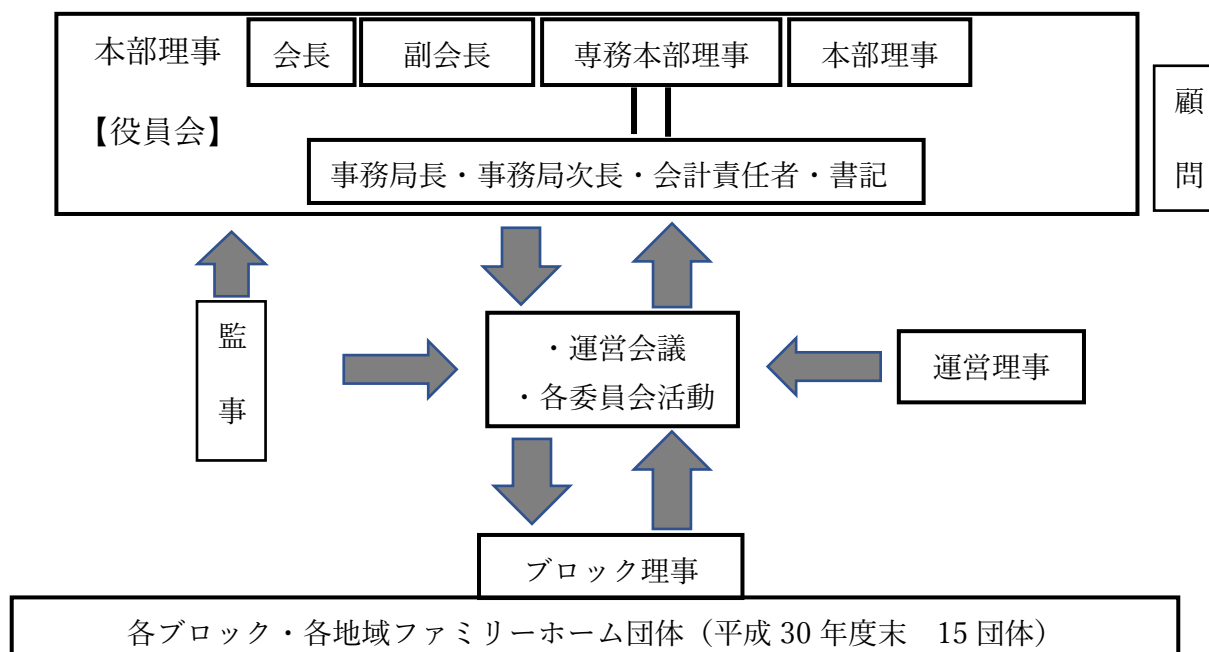
### ○2号会員について

平成 30 年度初日	入会	退会	平成 30 年度末
12 名	4	0	17 名
平成 29 年度初日	入会	退会	平成 29 年度末
10 名	2 名	0	12 名
平成 28 年度初日	入会	退会	平成 28 年度末
10 名	4 名	0	10 名

### ○3号会員について

平成 30 年度初日	入会	退会	平成 30 年度末
7 名	0	0	7 名
平成 29 年度初日	入会	退会	平成 29 年度末
7 名	2 名	0	5 名
平成 28 年度初日	入会	退会	平成 28 年度末
4 名	0	0	4 名

## ～日本ファミリーホーム協議会 組織図～



ブロック	団体名
北海道ブロック	北海道ファミリーホーム協議会
東北ブロック	青森県ファミリーホーム協議会
関東甲信越ブロック	埼玉県ファミリーホーム連絡会 千葉県ファミリーホーム協議会 横浜市ファミリーホーム協議会 新潟県ファミリーホーム協議会
東海北陸静岡ブロック	愛知県ファミリーホーム協議会 岐阜県ファミリーホーム協議会 静岡県ファミリーホーム協議会
近畿ブロック	兵庫神戸ファミリーホーム協議会
中国・四国ブロック	
九州ブロック	九州地区ファミリーホーム協議会
	佐賀県ファミリーホーム協議会
	長崎県ファミリーホーム協議会
	大分県ファミリーホーム協議会
沖縄ブロック	沖縄県ファミリーホーム連絡協議会

～ソーシャルアクションに関する報告～

社会保障審議会 児童部会 社会的養育専門委員会			
年月日	平成 30 年 8 月 3 日	出席者	北川聡子
内容	(1)『『都道府県社会的養育推進計画』の策定について』等について (2) 法務省法制審議会特別養子制度部会における検討状況 (3)「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」 (4) 平成 28 年改正児童福祉法附則第 2 条第 3 項の規定に基づく検討		
年月日	平成 31 年 1 月 16 日	出席者	北川聡子
内容	(1)「市町村・都道府県における子ども家庭相談支援体制の強化等に向けたワーキンググループとりまとめ」について(報告)(2)その他		

自由民主党 「児童の養護と未来を考える議員連盟」

1	月日	平成 30 年 4 月 11 日(水) 17:00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自由民主党本部 1 階 101 号室
	出席者	前川 知洋
	内容	「日本の国力を強める虐待防止&育児支援を旨として」 さめじまボンディングクリニック 院長 あんしん母と子の産婦人科連絡協議会理事長 鮫島浩二 院長
2	月日	平成 30 年 5 月 10 日(木) 11:00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自由民主党本部 8 階 リバティ 4 号室
	出席者	前川 知洋
	内容	自治体からのヒアリング 兵庫県明石市 泉 房穂市長より
3	月日	平成 30 年 5 月 15 日(火) 8:30～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	参議院議員会館 1 階 101 会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	「海外と日本におけるフォスタリング機関の実践について」 Key Assets ヨーロッパ・北米地区 CEO Steve Jacques NPO 法人 キーアセット 代表理事 渡邊 守

4	月日	平成 30 年 5 月 17 日（木）9：30～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第 2 議員会館 地下 1 階 第 3 会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	「都道府県社会的養育推進計画の策定要領（案）」について
5	月日	平成 30 年 5 月 29 日（火）8：00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自由民主党本部 8 階 リバティ 4 号室
	出席者	前川 知洋
	内容	「児童養護施設における子ども間性暴力等の現状と対策」
6	月日	平成 30 年 6 月 13 日（水）12：00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」緊急会合
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第 1 議員会館 地下 1 階 第 2 会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	「目黒女児虐待死事件について」 1. 厚生労働省子ども家庭局より説明 2. 「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」 座長 奥山真紀子 (国立研究開発法人国立成育医療研究センターこころの診療部長)
7	月日	平成 30 年 6 月 22 日（金）12：00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自民党本部 7 階 706 会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	「虐待死亡事例の検証のあり方について」 1. 研究代表者 奥山真紀子(成育医療研究センターこころの診療部長) 2. 日本子ども虐待医学会事務局長(理事兼任) 山田不二子 (認定 NPO 法人チャイルドファーストジャパン理事長)
8	月日	平成 30 年 6 月 29 日（金）8：00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自民党本部 1 階 101
	出席者	前川 知洋
	内容	「都道府県社会的養育推進計画の策定要領（案）」について



9	月日	平成 30 年 7 月 12 日（木）8：00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自民党本部 7 階 701 号室
	出席者	前川 知洋
	内容	「児童相談所のあり方について」 朝日新聞 編集委員 大久保 真紀氏
10	月日	平成 30 年 8 月 29 日（水）10：00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	参議院会館 1 階 101 号室
	出席者	前川 知洋
	内容	①厚労省からの報告（緊急総合対策、社会的養育専門委員会及び WG 設置、概算要求、警察との情報共有） ②「警察との情報共有と児童相談所常勤弁護士必要性」 福岡市こども総合相談センター こども緊急支援課長 久保健二氏
11	月日	平成 30 年 10 月 24 日（水）8：00～
	会議等名	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」勉強会
	主催	自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自民党本部 1 階 101 号室
	出席者	前川 知洋
	内容	①厚労省報告：児童相談所等の改革の検討状況について ②法務省報告：「特別養子制度の見直しに関する中間試案」について ③「新しい特別養子縁組制度に望むこと」 公益社団法人家庭養護促進協会理事 岩崎美枝子氏
12	月日	平成 30 年 12 月 21 日（金）10：00～
	会議等名	自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」総会
	主催	自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自民党本部 8 階 リバティ 2・3 号室
	出席者	前川 知洋
	内容	「厚労省『市町村・都道府県における子ども家庭相談支援体制の強化等に向けたワーキンググループ』での取りまとめについて」
13	月日	平成 31 年 1 月 25 日（金）13：30～
	会議等名	自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」総会
	主催	自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	自民党本部 1 階 101

	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	厚労省からの報告 ① 社会的養育専門委員会 WG「とりまとめ」（平成 30 年 12 月 27 日公表） ② 「児童虐待防止対策体制総合強化プラン（新プラン）」 ③ 「改正児童福祉法（仮称）」概要 ④ 「児童養護施設等の小規模・地域分散化、職員配置基準の強化を含む高機能化に向けた 2019 年度予算案」

超党派 「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自由民主党 「児童の養護と未来を考える議員連盟」
--

1	月日	平成 30 年 11 月 8 日（木）8：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	参議院議員会館 地下 1 階 B103
	出席者	前川 知洋・宇佐神 望運営理事
	内容	目黒女児虐待死事件を受け 「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について」報告書 1. 「社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会」委員長 山縣 文治氏（関西大学教授） 2. 山梨県立大学教授 西澤 哲氏
2	月日	平成 30 年 11 月 29 日（木）16：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第一議員会館 地下 1 階 第 4 会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	児童虐待防止対策等の更なる強化のための、児童相談所のあるべき姿等 について勉強会 「児童虐待防止対策の更なる強化を」 全国市長会社会文教委員会委員長 兵庫県明石市市長 泉 房穂氏

3	月日	平成 30 年 11 月 30 日（金） 8：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第一議員会館 地下 1 階 第 3 会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	児童ソーシャルワークや社会的養護（養育）のあり方、虐待防止対策等について 勉強会 「児童ソーシャルワークと社会的養護（養育）／虐待防止」 一戦後英国の到達点から日本の現状への示唆— 京都府立大学名誉教授 津崎 哲雄 氏
4	月日	平成 30 年 12 月 5 日（水） 12：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第一議員会館 9 階 918 議員会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	児童相談所の常勤弁護士:その実態と必要性について」 東京弁護士会 弁護士 川村 百合氏 名古屋市中心児童相談所 常勤弁護士 橋本 佳子氏
5	月日	平成 30 年 12 月 7 日（金） 8：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第二議員会館 地下 1 階 第 1 会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	厚労省からの報告 ① 香川県、東京都、国の「虐待検証報告書」の「相違点」について ② 自治体向け通知(「警察 FAQ」、「計画策定に係る事務連絡」、 「施設整備費採択方針」等)について ③ 今後の予算方針について

6	月日	平成 30 年 12 月 13 日（木）12：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第 1 議員会館 4 階 418 議員会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	「子ども最前線～目黒区虐待死を防ぐ児相と市区町村の関係への提言」 日本大学 危機管理学部 准教授 鈴木 秀洋氏
7	月日	平成 30 年 12 月 14 日（金）8：30～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第 1 議員会館 地下 1 階 第 3 会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	「児童福祉司の国家資格化について」 花園大学社会福祉学部児童福祉学科 准教授 和田 一郎氏
8	月日	平成 31 年 1 月 29 日（火）12：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第 1 議員会館 4 階 418 議員会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	「子ども虐待対応の専門性の向上に向けて：子ども家庭福祉領域の新たな国家資格の創設の必要性」 山梨県立大学 教授 西澤哲氏
9	月日	平成 31 年 2 月 7 日（木）13：30～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第 2 議員会館 地下 1 階 第 5 会議室
	出席者	前川 知洋

	内容	①「子どもの体やところを傷つける罰のない社会を目指して ～子どもに対する体罰等禁止の法改正に向けて～」 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン専務理事・事務局長 千賀 邦夫氏 同 国内事業部 子ども虐待の予防事業担当オフィサー 西崎 萌氏 ② 法務省及び厚労省より報告
10	月日	平成 31 年 2 月 12 日（火） 13：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	参議院会館 1 階 101 会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	「子ども虐待と脳科学-アタッチメント（愛着）の視点から-」 福井大学こころの発達研究センター 教授 友田 明美氏
11	月日	平成 31 年 2 月 14 日（木） 9：30～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	参議院会館 地下 1 階 B107
	出席者	前川 知洋
	内容	「奈良市における児童相談所設置の取組状況について」 奈良市市長 仲川 げん
12	月日	平成 31 年 2 月 20 日（水） 15：30～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第一議員会館 4 階 418 議員会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	①「児童虐待を早急に根絶するために ～子ども家庭領域におけるソーシャルワークの重要性～」 公益社団法人 日本社会福祉士会 会長 西島 善久氏 ②コメント 山梨県立大学 教授 西澤哲氏

13	月日	平成 31 年 2 月 22 日（金）10：30～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第一議員会館 地下 1 階 第 3 会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	「虐待対応における医療機関の役割及び多機関連携について」 独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 小児アレルギー内科医長 木下 あゆみ 医師
14	月日	平成 31 年 3 月 8 日（金）11：30～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	参議院会館 地下 1 階 B104 会議室
	出席者	宇佐神 望運営理事
	内容	「中核市等における児童相談所設置の意義と展望 ー わが自治体の子どもはわが自治体を守る ー」 金沢星稜大学 人間科学部 教授 川並 利治 氏
15	月日	平成 31 年 3 月 20 日（水）12：00～
	会議等名	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」及び 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」合同勉強会
	主催	超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」
	開催場所	衆議院第二議員会館 地下 1 階 第 4 会議室
	出席者	前川 知洋
	内容	1. 厚労省からの報告 2. 「豪州における児童保護に関する国家戦略と情報共有システム (Citizen Intelligence Platform)について」 Lucille Halloran パートナー(EY 政府・公共部門アジア太平洋地域責任者) 伊澤賢司 パートナー (EY 新日本有限責任監査法人政府・公共部門 日本地域責任者)

日本財団「様々な親子のかたちを考えるシンポジウム」

1	月日	平成30年9月3日（月）13：30～
	会議等名	シンポジウム「すべての子どもが愛されて育つために」 ～親子支援から里親、特別養子縁組など様々な家族のかたちを考える～
	主催	日本財団
	開催場所	よみうり大手町ホール
	出席者	前川 知洋
	内容	開会挨拶 笹川 陽平 来賓挨拶 厚生労働省 基調講演1 瀬奈じゅん「特別養子縁組で得た幸せ」 基調講演2 塩崎 恭久「真に子どもを大事にする国を目指して」 パネルディスカッション

子ども家庭養育推進官民協議会

年月日	平成30年5月18日	出席者	宮本 昇
内容	子どもの家庭養育推進官民協議会幹事会 1 総会に付議すべき事項について 2 総会次第について 3 ロゴマークを活用した里親制度の普及・啓発について 4 政策提言文案について 5 その他		
年月日	平成30年6月1日	出席者	ト蔵康行、宮本 昇
内容	子どもの家庭養育推進官民協議会総会及び講演会 第1部 総会 第1号議案～第4号議案について 第2部 記者発表（公開） 会長より協議会の活動報告/各団体トップからのコメント/ロゴマーク及びポスターの発表/応援メッセージ/政策提言発表、厚生労働大臣に提出/ 厚生労働省コメント /写真撮影 第3部 講演会（公開） ・基調講演 杉山 春氏（ルポライター）		

	<p>テーマ「児童虐待の取材からみた新しい社会的養育ビジョンの意義」</p> <p>・パネルディスカッション</p> <p>テーマ「今後のフォスタリング機関の在り方について」</p> <p>パネラー 上鹿渡和宏（長野大学教授）</p> <p>渡邊守（キアセット代表理事）</p> <p>藤林武史（福岡市こども未来局理事・こども総合相談センター所長）</p>		
年月日	平成 30 年 9 月 3 日	出席者	宮本 昇
内容	<p>シンポジウム（子どもの家庭養育推進官民協議会後援）</p> <p>「すべての子どもが愛されて育つために」～親子支援から里親、特別養子縁組など家族のかたちを考える～</p> <p>基調講演 1 「特別養子縁組で得た幸せ」</p> <p>瀬奈じゅん（元宝塚歌劇団・養親当事者）</p> <p>基調講演 2 「真に子どもを大事にする国を目指して」</p> <p>塩崎恭久（衆議院議員・前厚生労働大臣）</p>		
年月日	平成 30 年 9 月 3 日	出席者	宮本 昇
内容	<p>子どもの家庭養育推進官民協議会</p> <p>「里親月間（10 月 1 日から 7 日まで）」啓発活動の実施について</p> <p>○フォスタリングマークを活用した広報活動の実施</p> <p>※ 厚生労働省から同省が作成する「里親月間」啓発用のポスターとリーフレットにフォスタリングマークを掲載するとの連絡あり。</p>		
年月日	平成 30 年 12 月 25 日	出席者	宮本 昇
内容	<p>子どもの家庭養育推進官民協議会代表幹事会</p> <p>1 社会的養育推進研修会について 日程、講師、交流会、通知、予算</p> <p>2 平成 30 年度予算の執行状況と今後の年度内の取組みについて</p> <p>（1）30 年度予算の執行状況</p> <p>（2）ホームページ、リーフレット、ピンバッジ</p> <p>3 平成 31 年度総会日程について</p> <p>（1）日程（5 月 30 日（木）、31 日（金）の状況）</p> <p>（2）基調講演</p> <p>4 今後の新規加盟団体の取扱いについて</p> <p>5 全国家庭養護推進ネットワークに関する情報共有について</p> <p>6 その他</p>		



年月日	平成 31 年 1 月 29 日	出席者	長谷川寛治（パネラー）、宮本 昇
内容	<p>こどもの家庭養育推進官民協議会（これからの社会的養育を考える研修会）</p> <p>各都道府県に対し、2019 年度末までに策定が求められている新たな社会的養護の推進に向けた計画が、「家庭養育優先原則」に基づく社会的養育の充実をめざし、子どもの最善の利益の実現に寄与するものとなるよう、官民が協働した研修会を開催する。</p> <p>第一部 都道府県社会的養育推進計画の策定に関する意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県社会的養育推進計画策定にかかる情報交換</li> </ul> <p>第二部 これからの社会的養育のあり方を考える研修会</p> <p>講演①「子どものアドボカシーサービスに求められるもの」</p> <p>大分大学福祉健康科学学部 栄留 里美助教授</p> <p>講演②「フォostリング支援体制の整備で大切なこと」</p> <p>静岡市里親養育支援センター 眞子義秋理事長・望月秀樹事務局長</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>テーマ：これからの社会的養育について、～新計画に求められるもの～</p> <p>パネラー：全国里親会 相沢 仁理事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>：日本 FH 協議会 長谷川 寛治副会長</li> <li>：里親支援センターなでしこ 森下 宣明センター長</li> <li>：CVV 中村 みどり</li> <li>：三重県 川邊 正樹子ども虐待対策・里親制度推進官</li> <li>：厚生労働省 島 玲志子ども家庭局家庭福祉課児童福祉専門官</li> </ul> <p>アドバイザー：長野大学社会福祉学部 上鹿渡 和宏教授</p> <p>コーディネーター：日本財団 高橋 恵理子チームリーダー</p>		

全国退所児童等支援事業連絡会			
年月日	平成 30 年 5 月 21 日	出席者	宮本 昇
内容	<p>平成 30 年度 第 1 回全国退所児童等支援事業連絡会</p> <p>1 報告</p> <p>(1)ソフトバンク・チャリティースマイル『安心して社会に巣立とう』 応援助成について</p> <p>(2)平成 29 年度 退所児童等支援事業全国セミナーアンケート結果等について</p> <p>2 協議題</p> <p>(1)平成 30 年度事業等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業について</li> <li>・『退所児童等支援実践事例集』（案）について</li> <li>・30 年度以降の事業について</li> </ul>		

年月日	平成 30 年 9 月 19 日	出席者	宮本 昇
内容	平成 30 年度 第 2 回全国退所児童等支援事業連絡会 (1) モデル事業進捗状況について (2) 『退所児童等支援事例集』(案) について (3) 平成 30 年度 退所児童等支援事業全国セミナーについて (4) 平成 30 年度以降の事業について		
年月日	平成 30 年 12 月 7 日	出席者	宮本 昇
内容	平成 30 年度 第 3 回全国退所児童等支援事業連絡会 (1) 平成 30 年度 退所児童等支援事業全国セミナーについて (2) モデル事業進捗状況について (3) 平成 30 年度以降の事業について		
年月日	平成 31 年 2 月 20 日～21 日	出席者	宮本 昇
内容	平成 30 年度全国退所児童等支援事業全国セミナー 1 日目・平成 30 年度モデル事業報告・グループ討議 「ネットワークを活かした退所児童等支援」 ① 社会的養護施設・退所児童支援事業所等連携モデル事業 宮城県内の退所児童等支援に関わる方々との連携と SNS の活用による退所児童等支援のあり方に関するモデル事業 NPO 法人ほっぷすてっぷ 理事長 森田 みさ氏 ② 社会的養護施設における退所に向けたインケアの質の拡充モデル事業 就労支援の取り組みから社会的養護施設におけるインケアのあり方に関するモデル事業 NPO 法人フェアスタートサポート 代表理事 永岡 哲平氏 『進行・課題整理』 愛知淑徳大学 福祉貢献学部 教授 谷口 純世氏 東洋大学 社会学部 社会福祉学科 助教 泉谷 朋子氏  2 日目 退所児童等を支援する仕組みをつくろう。地域の実情に合わせて支援の仕組みとは  ① 名古屋市自立支援システム（名古屋市） 社会的養護施設等を退所して就労する若者の自立支援を図るために、市営住宅を活用し、自立援助ホームの職員が訪問支援する事業等名古屋市の退所児童等の取り組み。		

	<p>② NPO 法人おかえり（天理市）</p> <p>相談事業をはじめ、サロン活動、小規模住居型児童養育事業や県委託の子どもの「自立」サポート事業など里親家庭や児童養護施設等を巣立った人たちが自立し、安心して暮らせる社会作りに向けた取り組み。</p> <p>『進行・課題整理』</p> <p>東洋大学 社会学部 社会福祉学科 助教 泉谷 朋子氏</p> <p>愛知淑徳大学 福祉貢献学部 教授 谷口 純世氏</p>		
年月日	平成 31 年 3 月 12 日	出席者	宮本 昇
内容	<p>平成 30 年度 第 4 回全国退所児童等支援事業連絡会 議題</p> <p>（１）平成 30 年度 退所児童等支援事業全国セミナーについて</p> <p>（２）2019 年度の取り組みについて</p> <p>報告</p> <p>（１）『退所児童支援に関わる 10 の取り組み～退所児童等支援実践事例集～』</p> <p>（２）ソフトバンク・チャリティースマイル第 3 回『安心して社会に巣立つと』</p> <p>応援助成について</p>		

厚生労働省			
年月日	平成 30 年 4 月 6 日	出席者	ト蔵、北川、長谷川、前川、伊藤、小松
内容	新年度のご挨拶		
年月日	平成 30 年 6 月 19 日	出席者	ト蔵、北川、長谷川、前川、宮本、小松
内容	要望書の提出		

障害児入所施設の在り方に関する検討会			
年月日	平成 31 年 3 月 27 日	出席者	前川、竹内 透
内容	○ 議事 (1) 第 1 回検討会における構成員発言について (2) 全国児童発達支援協議会ヒアリング (3) 全国児童青年精神科医療施設協議会ヒアリング (4) 日本ファミリーホーム協議会ヒアリング		

## ～委員会報告～

### ○社会的養護とファミリーホーム編集委員会

委員長	若狭一廣（陽気ぐらしの家 わかさ）
委員	川名はつ子（早稲田大学教授）
	佐賀 豪（くれたけ法律事務所・弁護士）
	伊藤龍仁（F H☆マジカル）
	前川知洋（協議会 副会長兼会計）
	勅使河原孝浩(創英社)

### ○活動報告

1	日時	4 月 10 日 場所：くれたけ法律事務所
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
2	日時	4 月 28 日 場所：日本財団
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
3	日時	6 月 12 日 場所：くれたけ法律事務所
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
4	日時	7 月 10 日 場所：くれたけ法律事務所
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・鈴木・佐賀・前川
	内容	編集会議
5	日時	8 月 17.18 日 場所：このゆびとーまれ(富山)
	参加者・協力者	若狭・川名
	内容	取材

6	日時	8月28.29日 場所：べてるの家(北海道)
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・佐賀・前川
	内容	取材
7	日時	10月2日 場所：日本財団
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・佐賀・前川
	内容	座談会
8	日時	11月20日 場所：日本財団
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
9	日時	12月18日 場所：若狭ホーム
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
10	日時	1月22日 場所：日本財団
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
11	日時	2月12日 場所：早稲田大学
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・佐賀・前川
	内容	編集会議
12	日時	3月11日 場所：日本財団
	参加者・協力者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議

## ○事業調査・政策委員会

委員長	北川聡子（(社福) 麦の子会 むぎのこ）
委員	竹内 透（麦の子会 ガブリエルホーム）
	小松拓海（ワズハウス）

## ○活動報告

1	日時	5月10日(木)
	参加者・協力者	北川聡子・竹内 透
	内容	<p>○アンケート調査票回収完了</p> <p>平成29年12月1日付けで第2回目のアンケート調査票を発送した。今回の調査では、大学等への進学がしやすくなっている現状を踏まえて、ファミリーホーム家庭では、どのような状況になっているか把握するために、措置費、進学自立に向けての措置延長、大学等への進学率、支援事業の実施、進学についての補助金、児相との連携相談、里親</p>

		支援専門相談員との連携相談、里親支援機関との連携などについて調査した。292 ホームに発送し 198 ホームから回答を頂いた。回収率は、67.8%であった。
2	日時	8 月 2 日（木）
	参加者・協力者	北川聡子・竹内 透ほか
	内容	アンケート調査票について 198 ホーム分の最終集計が完了した。ファミリーホーム研究大会（宮城大会）で参加者に配布するため 200 部印刷した。
3	日時	8 月 3 日（金） 日本ファミリーホーム研究大会（宮城大会）
	参加者・協力者	北川聡子・竹内 透・小松拓海
	内容	アンケート集計を大会資料と一緒に参加者に配布した。今回の調査では、ファミリーホームの子どもの進学率や補助金、里親支援機関についてお聞きした。特に里親支援機関については、連携されているホームがわずか 24 ホームで全体の 12%であった。「わからない」という回答も複数あり、全国的にもまだ認知度は低い「早急にお願いしたい」との意見もあるので、今後の設立に期待したい。この度のアンケート集計については、ホームページで公開する予定である。

## ○研修委員会

委員長	伊藤貴啓（大学教授 協議会 書記）
委員	北川聡子（（社福）麦の子会 むぎのこ）
	宮本 昇（ファミリーホームひまわり）
	荘保共子（こどもの里ファミリーホーム）
	久野 恵（NPO 法人 ひだまりの丘）

## ○活動報告

1	日時・場所	7 月 16 日 北海道札幌市 麦の子会事務所
	参加者・協力者	伊藤・北川・宮本・荘保・久野・竹内透
	内容	<p>第 1 回 研修委員会</p> <p>議題 1 2018 年度 F H 専門研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込み状況（申し込み人数/定員）（託児） / ・研修時役割分担</li> <li>・研修スケジュールの確認</li> </ul> <p>議題 2 2019 年度 F H 専門研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数、開催地域/年 1 回 東日本⇄西日本で交互に開催（大会の地域とは反対側で開催する）</li> </ul>

		<p>議題3 2019年度F Hキャリアアップ研修について (別紙2019年度キャリアアップ研修案参照)</p> <p>【テーマ】</p> <p>①怒りの感情のコントロール(北川)</p> <p>②暴れることものの抑制の方法(山崎)</p> <p>③愛着障害・発達障害の理解と養育(伊藤?北川?)</p> <p>④(仮)愛着障害や虐待から出てくる性行動について (山本恒雄さんに頼んではどうか?)</p> <p>⑤(仮)家庭養育と自立支援、F Hの運営管理・パートナーシップ (倉橋/小松)</p> <p>【内容】</p> <p>60分 講義</p> <p>10分 学んだ事を用紙に記入</p> <p>20分 気づいたこと、感じたことのシェア グループワーク</p> <p>【研修スケジュール】</p> <p>参加しやすいように下記の時間に設定</p> <p>10:00 受付</p> <p>10:30~12:00 講義①</p> <p>昼休憩</p> <p>13:00~14:30 講義②</p> <p>14:30~15:00 アンケート・撤収</p> <p>・開催回数、開催場所</p> <p>6月北海道(札幌)/9月岐阜?/11月鳥取?/2月九州 or 沖縄</p> <hr/> <p>・予算(別紙参照)/・日本財団への助成申請(別紙参照)</p> <p>議題4 第2回研修委員会について</p> <p>・全国大会時に開催/行政説明時または懇親会後に30分ほど時間</p> <p>・審議内容 キャリアアップ研修を助成申請するための最終確認</p> <p>・旅費</p>
2	日時・場所	8月3日 宮城県宮城郡松島町
	参加者・協力者	伊藤・北川・宮本・荘保・久野・竹内透
	内容	<p>第2回 研修委員会</p> <p>来年度からは年1回の開催とするが運営・マネジメント研修は継続する。さらに「アドバンス研修」として、</p> <p>(1)怒りの感情のコントロール(2)暴れる子どもの抑制の方法</p> <p>(3)愛着障害・発達障害の理解と養育(4)虐待から出てくる性行動について(5)家庭養育と自立支援(6)FHの運営管理・パートナーシップ</p> <p>をテーマに新たな研修を開催する。</p>

		60分 講義 10分 学んだ事を用紙に記入 20分 気づいたこと、感じたことのシェア グループワーク という研修を半日で2本行い、来年度は上記の(1)怒りの感情のコントロール(2)暴れる子どもの抑制の方法の2テーマとして、北海道・岐阜・鳥取・沖縄で実施することを計画した。
3	日時・場所	8月27日 岡山県岡山市
	参加者・協力者	伊藤・宮本・久野・竹内透・山口修平
	内容	2018年度ファミリーホームの運営・マネジメント研修 受講者7名 4ホーム、他
4	日時・場所	9月10日愛媛県松山市
	参加者・協力者	伊藤・久野・竹内透・山口修平
	内容	2018年度ファミリーホームの運営・マネジメント研修 受講者8名 6ホーム、他 託児2名
5	日時・場所	10月15日東京都中央区
	参加者・協力者	伊藤・宮本・久野・竹内透・山口修平
	内容	2018年度ファミリーホームの運営・マネジメント研修 受講者25名 20ホーム、他 託児1名
6	日時・場所	11月12日大阪府大阪市
	参加者・協力者	伊藤・荘保・久野・竹内透・山口修平
	内容	2018年度ファミリーホームの運営・マネジメント研修 受講者12名 7ホーム、他 託児1名

## ○役員選出規定検討委員会

委員長	長谷川 寛治（北海道：ファミリーホームはせがわ）
委員	ト藏 康行（宮城県：ざおうホーム）
	前川 知洋（群馬県：ファミリーホーム上野）
	宇佐神 望（東京都：フォスターハウスホサナ）
	大柳 弘幸（大分県：大柳ホーム）

## ○活動報告

1	日時	4月6日 場所：日本財団《役員会》
	内容	・検討委員会の役員選出規定（案）を提案 ・選挙案だけではなく、選挙以外の案も検討してほしい （会員間であつれきが生じる、ブロック代表者による選考は？）



2	日時	4月16日 場所：skype 会議≪第16回委員会≫
	内容	・役員でない2委員に経過説明/・議論の切り口 会員が役員を選ぶ必要性、少ない総会出席者での選定、具体的代替案？ 今後の手順～定時総会での議決は無理。全国大会時の臨時総会？
3	日時	6月4日 場所：skype 会議≪17回委員会≫
	内容	・6月19日運営会議に示す新たなルール案 第1案～会員個々の直接投票による選挙方式（既提案） 第2案～ブロック代表による選定方式（詳細は要検討） ・ブロック代表による選定方式の具体的手法の検討 ・制度化にあたっての留意点～各ブロックの推薦人数は自由、 被推薦者は役員又は運営理事、役職は推薦された人の互選
4	日時	6月11日 場所：skype 会議≪第18回委員会≫
	内容	・ブロック推薦方式の骨子 各ブロックから役員を推薦（推薦方法、人数～自由）/推薦された者は 執行部役員又は運営理事/役職は推薦された人の互選/ 運営会議で役員選考管理委員2名を選出/監事の推薦も行う
5	日時	6月19日 場所：青山生涯学習館 第1回運営会議
	内容	・第1案（A案）、第2案（B案）について説明
6	日時	7月9日 場所：skype 会議≪第19回委員会≫
	内容	・委員会としての取纏め意見（各委員）・個別事項についての協議 役員（監事を含む）の任期制限、年齢制限/ ・1号、2号会員別の役職制限 ・ブロック理事と役員の兼任
7	日時	7月12日 場所：skype 会議≪役員会≫
	内容	・役員選出のルール作りの必要性を確認 ・継続性も大切にしながら、役員の任期、会長の任期、会長となる条件、 役員の年齢などについて検討委員会で再度検討

8	日時	7月16日 場所：skype 会議≪第20回委員会≫
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別事項の各委員意見</li> <li>役員（監事を含む）の任期制限～3パターン</li> <li>役員（監事を含む）の年齢制限～4パターン</li> <li>1号、2号会員別の役職制限～2パターン</li> <li>ブロック理事と役員の兼任～兼任禁止（全委員一致）</li> <li>役員の就任条件～3パターン/役員候補者を募る方法～2パターン</li> <li>役職の選出方法～互選（全委員一致）</li> </ul>
9	日時	7月23日 場所：skype 会議≪第21回委員会≫
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会意見（まとめ）</li> <li>任期制限～会長のみ3期6年/年齢制限～会長のみ75才/</li> <li>役職制限～会長のみ1号会員/兼任～ブロック理事と役員の兼任は不可</li> <li>役員の就任条件～会員経験3年以上/候補者の選出～ブロック、現役員会、3人以上の会員による推薦/役職の選出～候補者による互選</li> </ul>
10	日時	9月19日 場所：日本財団≪役員会≫
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会意見（まとめ）～提案</li> <li>役員の年齢制限→結論出ず。（75歳・70歳・65歳・必要なし）</li> </ul>
11	日時	10月19日 場所：skype 会議≪役員会≫
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員選出規定（案）の検討</li> <li>・制定手順の検討～次期改選に対応できるか（H30定期総会？で制定）</li> </ul>
12	日時	10月31日 場所：skype 会議≪役員会≫
	内容	・役員選出規定の検討
13	日時	11月19日 場所：日本財団≪役員会≫
	内容	・制定手順（総会との関係）について検討した結果、時間的に間に合わないとの結論
14	日時	11月19日 場所：日本財団≪運営会議≫
	内容	・次期改選（H31年度総会）は従前の手法により実施する旨報告

## ～会議報告～

### ○ 定時総会

日時・場所	5月28日（月）日本財団 会議室
内容	<p>1. 開会の言葉 北川副会長</p> <p>2. 挨拶 ト蔵会長</p> <p>3. 行政説明 厚生労働省こども家庭局家庭福祉課長補佐 川島 均様</p> <p>4. 議長選出 ト蔵会長 定足数確認 会員数 300 に対して 154(出席 39・委任状出席 115) 議事録署名人 荘保・平林両会員</p> <p>5. 議事</p> <p>1) 決議事項</p> <p>第1号議案 平成29年度事業報告承認の件</p> <p>第2号議案 平成29年度決算報告承認の件</p> <p>第3号議案 平成29年度会計監査報告承認の件</p> <p>第4号議案 平成30年度事業計画（案）承認の件</p> <p>第5号議案 平成30年度予算（案）承認の件</p> <p>第6号議案 ブロック理事について</p> <p>第7号議案 新規1号会員会費について 休会1号会員会費について</p> <p>2) その他 役員選出規定検討委員会より</p> <p>6. 議長解任</p> <p>7. 連絡事項 第13回ファミリーホーム全国研究大会 in 宮城仙台</p> <p>8. 閉会の言葉 長谷川副会長</p>

### ○役員会報告

1	日時	4月6日 場所：日本財団
	参加者	ト蔵・長谷川・北川・前川・伊藤・小松
	内容	事業報告、決算報告、事業計画、予算等について
2	日時	4月23日 場所：web 会議
	参加者	ト蔵・長谷川・北川・前川・宮本・伊藤・小松
	内容	事業報告、決算報告、事業計画、予算等について

3	日時	5月26日 場所：web会議
	参加者	ト蔵・長谷川・北川・前川・宮本・小松
	内容	総会に向けての打ち合わせ
4	日時	6月15日 場所：web会議
	参加者	ト蔵・長谷川・北川・前川・宮本・小松
	内容	運営会議に向けての打ち合わせ、要望書等について
5	日時	6月19日 場所：青山生涯学習館
	参加者	ト蔵・北川・長谷川・前川・宮本・小松
	内容	運営会議に向けて打ち合わせ
6	日時	7月12日 場所：web会議
	参加者	ト蔵・北川・長谷川・前川・伊藤・小松
	内容	役員改正規定について
7	日時	9月19日 場所：日本財団
	参加者	ト蔵・北川・長谷川・前川・宮本・小松・（事務局員：元藤）
	内容	運営会議、役員選出規定等について
8	日時	10月19日 場所：web会議
	参加者	ト蔵・北川・長谷川・前川・小松
	内容	研修委員会等について
9	日時	10月31日 場所：web会議
	参加者	ト蔵・鈴木・北川・長谷川・前川・宮本・小松
	内容	役員選出規定等について
10	日時	11月19日 場所：日本財団
	参加者	ト蔵・鈴木・長谷川・前川・伊藤・小松
	内容	運営会議に向けて打ち合わせ等

## ○運営会議

日時・場所	6月19日 青山生涯学習館 会議室
出席者	（役員）ト蔵康行・長谷川寛治・北川聡子・前川知洋・宮本昇・小松拓海 （ブロック理事）中兼正次・竹内 透・木村孝禪・関 武子・村原定子 五十嵐ふさい・荘保共子・北川をさみ・安東秀子 坂本和弘・山崎 浩・牧山勇人・仲松美智子 （運営理事）宇佐神望・川崎和子 （監事）大柳弘幸・村田和木

内容	<p>* 会長挨拶</p> <p>①事務局報告②各委員会からの報告③他団体との連携について</p> <p>④第 13 回ファミリーホーム全国研究大会 in 宮城仙台の進捗状況の報告</p> <p>⑤各ブロック理事より平成 30 年度ブロック活動計画等の報告</p> <p>⑥その他、意見交換、連絡事項</p>
日時・場所	11 月 19 日（月）日本財団 会議室
出席者	<p>（役員）ト蔵康行・長谷川寛治・前川知洋・鈴木二光代・伊藤貴啓・小松拓海</p> <p>（ブロック理事）中兼正次・竹内 透・木村孝禪・関 武子・安江フミ子</p> <p>村原定子・荘保共子・北川をさみ・安東秀子・坂本和弘</p> <p>山崎 浩・牧山勇人・仲松美智子</p> <p>（運営理事）宇佐神 望・川崎和子 （監事）大柳弘幸</p>
内容	<p>会長挨拶</p> <p>①行政説明（厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課長 成松英範様</p> <p>②事務局報告③各ブロック理事よりブロック活動報告④各委員会活動報告</p> <p>⑤第 13 回全国研究大会 宮城仙台大会の報告</p> <p>⑥第 14 回全国研究大会 岡山大会の進捗状況⑦第 15 回全国研究大会について</p> <p>⑧ブロック理事、運営理事、監事との意見交換⑨その他</p>

## ～事務局報告～○事務局会議&発送作業

1	日時	5 月 7 日～8 日 場所：ファミリーホーム上野
	参加者	前川・宮本・伊藤・小松
	内容	総会準備、各種資料の発送作業等
2	日時	7 月 2 日～3 日 場所：ファミリーホーム上野
	参加者	宮本・前川・元藤・大柳・小松
	内容	会員のしおり、会報誌発送作業。名簿、事務局体制の確認。
3	日時	9 月 6 日～7 日 場所：ワンズハウス
	参加者	宮本・小松・ボランティア 3 名
	内容	会報誌発送作業

4	日時	10月14日 場所：ワンズハウス
	参加者	小松・ボランティア1名
	内容	フォスタリングマーク啓発グッズ発送作業
5	日時	2月4日 場所：ワンズハウス
	参加者	小松・ボランティア3名
	内容	会報誌発送作業
6	日時	3月7日 場所：ファミリーホーム上野
	参加者	前川
	内容	会費&保険案内の発送作業
7	日時	3月19日 場所：ファミリーホーム上野
	参加者	前川・鈴木
	内容	総会案内、機関誌発送作業

# ○ファミリーホーム通信（編集担当：大柳弘幸）

2018年7月号	平成30年度総会報告 厚労省への要望書提出 役員選出規定案など
2018年9月号	宮城県で開催された全国研究大会の報告 「新しい社会的養育ビジョン」について
2019年2月号	会長より年頭の挨拶 ニュースレターの紹介 来年度 全国研究大会 in 岡山など

○ニュースレター（編集担当：大柳弘幸）

	主な内容
1号(2018.6)	処遇改善研修について
2号(2018.8)	社会的養護自立支援事業について
3号(2018.10)	新しい社会的養育ビジョンについて
4号(2018.11)	協議会役員改選について
5号(2018.12)	措置費改定について
6号(2019.1)	平成31年度 家庭福祉対策関係予算案について
7号((2019.2)	体罰・懲戒権について
8号(2019.3)	高等教育無償化について
9号(2019.3)	社会的養護とファミリーホーム vol.9 の訂正について

## ～ファミリーホーム賠償責任保険についての報告～

・団体保険契約者 日本ファミリーホーム協議会

・契約保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

・保険の種類	施設賠償責任保険	対人対物事故共通 1 事故 3 億円
	生産物賠償責任保険	対人対物事故共通期間中 3 億円
	個人賠償責任保険	賠償責任保険：期間中 1 億円

・保険納入金額 271 ホーム × 13000 円 = 3,523,000 円

・30 年度保険執行実績 2018 年 4 月 1 日～2019 年 4 月 1 日

保険種類	事故件数	保険適応件数	支払額
施設賠償保険	4 件	3 件	131,292 円
生産物賠償責任保険	0 件	0 件	0 円
個人賠償責任保険 (傷害総合保険)	10 件	8 件	780,229 円
合計	14 件	11 件	911,521 円

・30 年度保険請求申出謝絶件数 0 件

「保険適応事案一部抜粋」			①
使用した保険の種類 施設賠償責任		賠償対象 近隣住人	加害者/学年・年齢 1 歳児童
処理に要した期間/日数 約 2 ヶ月		賠償額/円 30,000	
内容	児童が他法人所有の障子戸を破損させてしまったもの。		
②			
使用した保険の種類 施設賠償責任		賠償対象 友人	加害者/学年・年齢 小学生
処理に要した期間/日数 未了		賠償額/円 不明	
内容	学校での掃除の時間に掃除機が近くにいた同級生に当たってしまい、相手が歯を負傷してしまったもの。		
③			
使用した保険の種類 個人賠償責任		賠償対象 第三者	加害者/学年・年齢 中学生
処理に要した期間/日数 1 ヶ月		賠償額/円 67,361	
内容	自転車で走行中に停車中の車に接触してしまったもの。		
④			
使用した保険の種類 個人賠償責任		賠償対象 第三者	加害者/学年・年齢 高校性
処理に要した期間/日数 約 3 ヶ月		賠償額/円 53,166	
内容	自転車で交差点にさしかかった際、別方向から来た自動車に接触してしまったもの。		
⑤			
使用した保険の種類 個人賠償責任		賠償対象 第三者	加害者/学年・年齢 12 歳以上児童
処理に要した期間/日数 約 1 ヶ月半		賠償額/円 287,335	
内容	自転車で走行中、路肩に停止中であった自動車に接触してしまったもの。		



⑥		
使用した保険の種類 個人賠償責任	賠償対象 第三者	加害者/学年・年齢 高校性
処理に要した期間/日数 約 1 ヶ月	賠償額/円 94,477	
内容	自転車で横断歩道を渡る際に、別方向から来た自動車と接触してしまったもの。	
⑦		
使用した保険の種類 個人賠償責任	賠償対象 第三者	加害者/学年・年齢 高校性
処理に要した期間/日数 約 1 ヶ月	賠償額/円 28,080	
内容	学校で遊んでいる際、つまづいてブラインドが手に引っ掛かり破損させてしまった。	

## ～第 13 回ファミリーホーム全国研究大会 宮城仙台大会報告～

日時	8 月 3 日（金）～4 日（土）会場：宮城県松島町「ホテル大観荘」
参加者	大人 189 名（会員等 182 名・講師 来賓 7 名）・子ども 139 名総数 328 名
テーマ	絆～未来へつなぐ命～
<p>（1）行政説明：社会的養護の現状、並びに改正児童福祉法及び関係施策について 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 児童福祉専門官 島 玲志様</p> <p>（2）基調講演：「新しい社会的養護ビジョンとファミリーホーム」 長野大学教授 上鹿渡 和宏先生</p> <p>（3）分科会</p> <p>第 1 分科会：子どもの性の問題について 講師 宮城大学 看護学群教授 桑名 佳代子先生</p> <p>第 2 分科会：子どもの自立支援について 講師 自立援助ホーム「峠のまきば」 中山 崇志様</p> <p>第 3 分科会：障害を抱える子どもたちのケアについて 講師 社会福祉法人麦の子会 総合施設長 北川 聡子様</p> <p>第 4 分科会：いまさら聞けない！？ホーム運営の素朴な疑問 助言者 日本ファミリーホーム協議会会長 ト蔵 康行 助言者 名古屋芸術大学 教授 伊藤 貴啓先生</p> <p>第 5 分科会：フォスタリングチェンジ・プログラム研修 講師 長野大学教授 上鹿渡 和宏先生</p>	

## ～ブロック活動報告～

### ○北海道ブロック：報告者 ファミリーホームフリフリ 中兼正次

活動内容	北海道ファミリーホーム研究大会 in 定山溪
活動日時	H30 年 7 月 21 日（土）～22 日（日）
活動場所	札幌市定山溪温泉 定山溪ビューホテル
参加者	15 ホーム、里親、道庁、札幌市、他 計 94 名
内容	<p>&lt;運営マネジメント研修&gt;</p> <p>行政説明 北海道子ども未来推進課自立支援担当課長 森本秀樹</p> <p>講演 「社会的養護とファミリーホーム」</p> <p>元厚生労働省保健福祉部長・養育里親 藤井康弘</p> <p>グループワーク「ファミリーホームの実践と課題」</p> <p>基調講演「児童精神科医から見た里子療育のあり方」</p> <p>児童精神科医（旭川圭泉会病院） 佐々木彰</p> <p>講演「ファミリーホームの専門性」</p> <p>日本ファミリーホーム協議会研修委員長 伊藤貴啓</p> <p>（名古屋芸術大学人間発達学部子ども発達学科教授）</p>

活動内容	みんなで拓こう子どもの未来フォーラム
活動日時	H30 年 8 月 22 日（水）、札幌市教育文化会館
活動場所	<p>23 日（木）旭川市アートホテル旭川ウエスト</p> <p>（共催 旭川子どもの虹実行委員会）</p>
参加者	札幌会場 30 名、旭川会場 60 名
内容	<p>22 日札幌会場</p> <p>行政説明 北海道保健福祉部自立支援担当課長 森本秀樹</p> <p>基調講演 「ファミザニアの取り組み」</p> <p>ジュンブライダル代表取締役（京都中小企業家同友会） 前川順</p> <p>フォーラム コーディネーター 北川聡子</p> <p>パネリスト 前川順、有田京史、柳川久美子、</p> <p>大場信一、星正博、西野智子</p> <p>23 日旭川会場 基調講演 同上（京都中小企業家同友会） 前川順</p> <p>フォーラム コーディネーター 伊東裕子</p> <p>パネリスト 前川順、早川克史、伊藤弘子、藤瀬和寿、</p> <p>多田伝生、東郷明</p>

活動内容	ファミリーホーム相互訪問事業
活動日時	H30 年 10 月 1 日（月）の予定（9 月 6 日の胆振東部地震の影響で中止）
活動場所	江別市、恵庭市（中止）

活動内容	トドックフードバンク事業（市民生協コープさっぽろの事業）
活動日時	毎月 1 回
活動場所	市民生協コープさっぽろ配送センター
内容	道協議会との基本協定に基づき、生協コープさっぽろの各配送センターで食品等の無償提供を受ける。H29 年 5 月開始。現在 19 ホーム参加。

活動内容	道新花火大会招待要請活動
活動日時	H31 年 3 月
参加者	札幌市近郊ファミリーホーム
内容	北海道新聞福祉振興基金が H29 年から実施している道新花火大会への障害者・児童養護施設入所招待事業に、札幌近郊のファミリーホーム児童・保護者を加えるよう、北海道新聞福祉振興基金に要望。内諾の見込み。

- 1)総会 平成 30 年 4 月 12 日（木） 参加者：14 ホーム 19 名  
2)役員会 H30 年 4 月 12 日、11 月 1 日、H31 年 1 月 21 日、3 月 11 日

#### H30.7.21-22 「北海道ファミリーホーム研究大会 in 定山溪」・交流会



#### H30.8.22（札幌市）23(旭川市)「みんなで拓こう子どもの未来フォーラム」



○東北ブロック：報告者 木村孝禪

活動内容	ファミリーホーム全国研究大会 実行委員会東北ブロック
活動日時	① 5月8日 ②7月9日 ③8月1日
活動場所	① ②仙台駅西口会議室 ③ホテル松島 大観荘
参加者	① 16名 ②15名 ③21名
内容	<p>① 分科会内容打ち合わせ</p> <p>② 参加者名簿作成・協力団体・事務作業打ち合わせ</p> <p>③ 大会会場確認</p> <p>・ホテル打ち合わせなど</p>



仙台駅西口会議室にて(5月8日)

活動内容	東北ブロック研修会並びに会議
活動日時	平成31年3月16日(土)
活動場所	東北福祉大学仙台駅東口キャンパス
参加者	14名
内容	<p>1) 来年度の活動計画・役員改選</p> <p>・来年度のブロック総会日程・研修会など協議</p> <p>・本部役員候補 仁井田 三枝子(ファミリーホームいぶき) 福島県 東北ブロック理事 幕田 好三(ファミリーホームとくら) 福島県</p> <p>ブロック内の円滑な運営を図るため、高木さんを事務局に就任。</p> <p>2) 家庭養護推進フォーラム参加</p> <p>宮城県里親支援センター</p> <p>「けやき」主催</p> <p>「今、求められている 里親養育とソーシャルワーク」</p> <p>日本事業大学教授 宮島 清先生</p>



3月16日東北福祉大仙台駅東口キャンパスにて

## ○関東甲信越ブロック

報告者 ファミリーホームいからし 五十嵐ふさい

ファミリーホーム千結 関 武子

活動内容	ブロック研修
活動日時	平成 30 年 11 月 6 日
活動場所	大宮ソニックシティ会議室 905
参加者	参加ホーム 23H 参加人数 26 名
ゲスト	国立きぬ川学院 院長 相澤 孝予 氏
内容	講演 「ファミリーホーム・里親における生活場面面接を考える」

活動内容	各都県代表打ち合わせ会
活動日時	平成 30 年 7 月 6 日
活動場所	群馬県前橋市 ファミリーホーム上野
参加者	参加人数 10 名
内容	日本ファミリーホーム協議会運営会議の報告 各都県の活動状況について。ブロック活動について。 意見交換・連絡事項等





○東海北陸静岡ブロック：報告者 ファミリーホーム安江さん家 安江フミ子

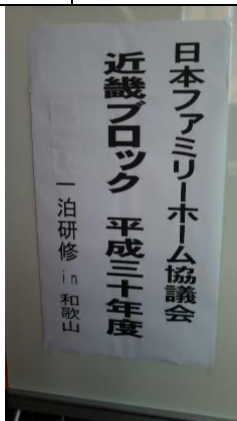
活動内容	東海北陸静岡ブロック研修会
活動日時	平成 30 年 9 月 15 日
活動場所	大人 岐阜県 名務原那加福祉センター 子ども 名務原航空博物館・アクアトト
参加者	F H 20 ホーム 子ども 34 名 里親支援専門相談員 8 名 子ども相談センター4 名 ボランティア（里親も含む）8 名
内容	大人 1 講演「ファミリーホームに求められる専門性」 講師 名古屋芸術大学 伊藤貴啓氏 2 分科会及び意見交換会  子ども 3 人程度のグループに分かれて航空機博物館・アクアトト見学

活動内容	東海北陸静岡ブロック臨時総会
活動日時	平成 30 年 11 月 5 日
活動場所	ウィル愛知 会議室
参加者	15 ホーム（16 ホーム 委任状提出）
内容	議案 1 2020 年 FH 全国大会について 2 今後引き受けた場合の開催地・運営について 3 日本 FH 協議会の役員改選について



○近畿ブロック：報告者 松本昌樹

活動内容	第2回 近畿ブロック1泊研修 in 和歌山
活動日時	平成30年5月12(土)～13日(日)
活動場所	和歌山県立情報交流センターBig・U
参加者	26ホーム・140名
内容	<p>① 開会式</p> <p>・ブロック長挨拶/歓迎の言葉/来賓挨拶(田辺市副市長 林誠一 氏)</p> <p>② 平成30年度定期総会</p> <p>「ファミリーホーム等における成長の基盤としての安心安全づくり」</p> <p>講師：田嶋 誠一 氏(九州大学 名誉教授)</p> <p>③ 講演を受けての質疑応答</p> <p>④ 講演を受けてのグループ討議および発表</p>



活動内容	近畿ブロック定例会
活動日時	平成30年7/13・9/14・11/9・平成31年1/25・3/15
活動場所	サクラ ファミリア
参加者	近畿ブロック各ホーム養育者・従事者 里親専門相談員・関係機関
内容	検討事項・連絡・近況報告・相談など



○中国・四国ブロック：報告者 Our-house 坂本和弘

活動内容	今年度の研修会は無し。全国大会の準備・活動とさせていただきます。
活動日時	H30 年 6 月 5 日・7 月 3 日・8 月 9 日・11 月 6 日・H31 年 2 月 4 日
活動場所	岡山総合福祉会館きらめきプラザ・ファミリーホーム操山寮
参加者	ファミリーホーム全国大会、実行委員
内 容	平成 31 年度全国大会についての協議。実行委員長：安東秀子。 皆様多数の参加をお待ちしております。

○九州ブロック：報告者 山崎 浩

活動内容	各県代表者会議
活動日時	平成 30 年 7 月 12 日
活動場所	福岡 大博多ビル会議室
参加者	各県代表者
内容	29 年度会計監査報告・30 年度九州ブロック研修会の打ち合わせ

活動内容	九州ブロック研修会
活動日時	平成 30 年 11 月 12 日～13 日
活動場所	メートプラザ（佐賀県佐賀市）
参加者	各県 F H 養育者・補助者 40 名、佐賀県里親支援専門相談員 7 名、佐賀県県議会議員 2 名、佐賀県中央児童相談所 3 名、佐賀県北部児童相談所 1 名、佐賀県児童養護施設協議会 2 名
内容	○基調講演「発達障がいのある児童の理解と支援」 佐賀県中央児童相談所 判定課長 中島 氏 ○事例研究 コーディネーター：西九州短期大学 幼児保育学科 准教授 川邊 氏 アドバイザー：佐賀県中央児童相談所 判定課長 中島氏



○沖縄ブロック：報告者 神谷眞行

活動内容	定例会
活動日時	平成 30 年 4 月 11 日（木）
活動場所	沖縄県コザ児童相談所 会議室
参加者	会員 10 人 中央児相 3 人 コザ児相 4 人 その他 3 人
内容	転入児相職員との顔合わせ、意見交換会 ＊定員割れが出ないように配慮をお願いする。

活動内容	研修会
活動日時	平成 30 年 5 月 11 日
活動場所	沖縄県総合社会福祉センター会議室
参加者	22 人（FH16 人、里親会 3 人、里親支援相談員 4 人、心理士 3 人）
内容	「トラウマを抱えたこどもの理解とその対応」 2 回目フォローアップ研修会（昨年の研修受講者対象） 講師:ジョン・カーペンター・ウィリアムズ （オクラホマ大学アウトリーチ 青少年向けサービス国立研究所） 講師：花田裕子 長崎大学教授

活動内容	オープンスペース里親（FH との共催）
活動日時	6 月 21 日 10：00～11：30
活動場所	児童養護施設愛隣園会議室
参加者	会員 8 人 里親 10 人
内容	「乳幼児のかかわり方」愛着を育む～ 講師：里親会会長 松川園子

活動内容	定例会（全国大会in宮城仙台）報告
活動日時	9 月 13 日（木）
活動場所	県総合福祉センターこころサポートさとおや事務所
参加者	10 人
内容	大会に参加した仲松さんから報告及び近況報告 ＊定員割れの早期改善を要請した。 6/15 中児所長面談 6/18 コザ児相班長面談 8/14 コザ児相班長へ電話 8/15 中央児相主幹面談

活動内容	定例会（自立支援計画書調整）
活動日時	11月15日（木）
活動場所	県総合福祉センターこころサポートさとおや事務所
参加者	9名
内容	自立支援計画書の配布と説明（中央児相 里親担当）

活動内容	オープンスペース里親（FHとの共催）
活動日時	平成31年2月28日(木)
活動場所	児童養護施設 島添えの丘 会議室
参加者	会員8人 里親10人 里親支援相談員、ここサポ関係者
内容	<p>「思春期の子供との向き合い方 ～心のパイプを詰まらせずに肯定感の高い子を育てるために～」</p> <p>講師：中村和博氏 （心理カウンセラー、保護司、こころと人生のドック講座主催者）</p> <p>「会話じゃなく、対話をしよう。」人は誰でも</p> <p>①愛してほしい（認めてほしい。分かってほしい。受け入れてほしい）</p> <p>②私の希望どおりにしてほしい。の要求を満たす人間関係を求めている。</p> <p>求めるだけの人間関係では満たされません。</p> <p>受け入れることが大事なのです。</p>



## ～監査報告～

監査日時	平成 31 年 4 月 22 日 場所：ファミリーホーム上野
監査対象	平成 30 年度 事業報告 平成 30 年度 決算報告
出席者	
監事	村田和木・大柳弘幸
役員	ト蔵会長・前川副会長兼会計・小松事務局長

### 監事監査報告書

一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会 会長 ト蔵 康行様

平成 30 年度の事業執行状況、経理状況を監査いたしましたので、報告いたします。

### 監査報告

事業計画及び予算に定めたところに従い適正に執行、管理されていることを認める。

平成 31 年 4 月 22 日（月）

監事 村田 和木  
監事 大柳 弘幸